



品種
・ハイツ (極早生)
・緑帝 (中生)
・グリーンパール (晩生)

ブロッコリー

栽培のポイント

① 排水対策をしっかりと

保水力があり有機質に富む土壌を好むので、良質の堆肥と油かすを十分施すようにします。湿害に弱く、根腐れを起こして枯れやすいので、水たまりが生じないよう畑の排水に注意しましょう。

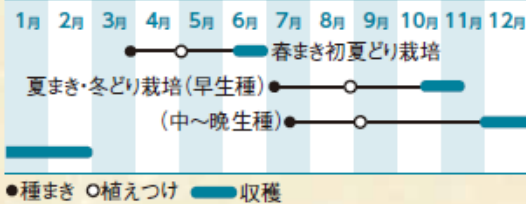
② 育苗中の温度に注意

基本的に冷涼な気候を好みますが、暑さや寒さにも強いので冬・春・夏と種まきが可能です。ただし、夏まきでは日差しを和らげるため、よしずや寒冷紗で覆って苗を作りましょう。また、冬まきの場合は、加温・保温して育苗する必要があります。

③ 頂花蕾の収穫後に追肥を

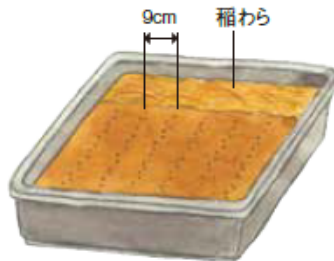
頂花蕾を収穫した後、1株当たり1握りの化成肥料を株の周りに追肥して、よい側花蕾を出させるようにしましょう。

栽培カレンダー

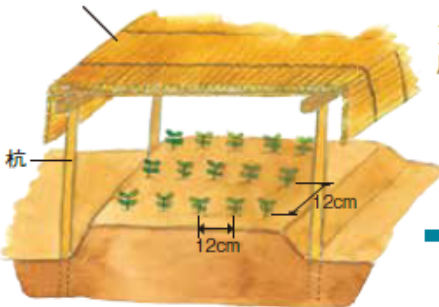


1 苗づくり

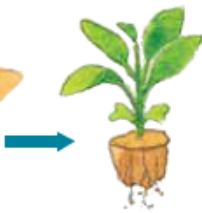
・苗床で育成する場合
葉が出てきたら重なり合わないよう順次間引いていき、本葉1～2枚のころベッドへ移植する



よしずまたは黒寒冷紗



夏の日差しを防ぎ、風通しをよくする



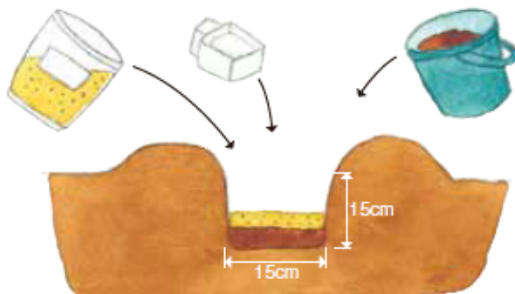
本葉5～6枚で畑に植える



・セル成型育苗の場合
128穴のセルトレイに1穴2～3粒まき、発芽がそろったら間引いて育ちの良いもの1株にする。本葉3枚くらいで畑に植える

2 元肥入れ

(溝の長さ1mあたり)
油粕: 大さじ5杯
化成肥料: 大さじ3杯
堆肥: 7～8握り

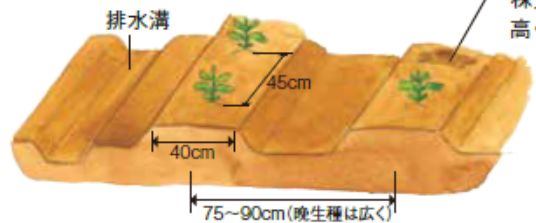


3 植えつけ

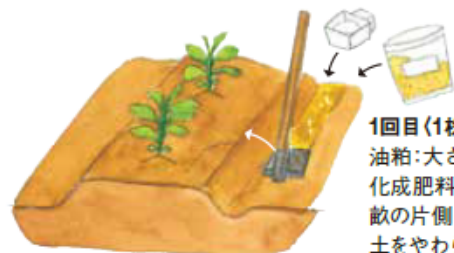
秋雨期を迎える作型では、畑の周囲の排水に注意



深植えは禁物
株元が少し高くなるように

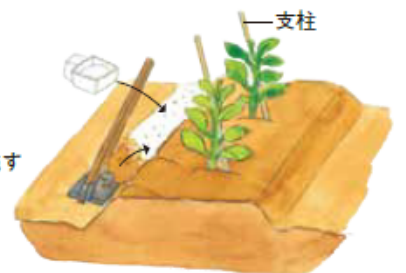


4 追肥・中耕



1回目(1株当たり)
油粕: 大さじ1杯
化成肥料: 大さじ1/2杯
畝の片側に軽く溝を掘って施す。土をやわらげながら畝に寄せる

2回目以降
20～30日ごとに3～4回(1株当たり)
化成肥料: 大さじ1杯
前回と反対側に同様に施す



倒れやすい時期には支柱を立てる

5 収穫

頂花蕾を包丁で切り取る。株のまわりに追肥して勢いをつけ、よい側花蕾を出させる。側花蕾は小さいが味に遜色はないので、手やハサミで摘み取る